

2018年9月8日
(2018年9月12日誤植修正版)

関係者各位

日本ラグロス協会

JLA ルールについて

1997年の男子アドバンシング・ザ・ボール（2018年より休止）の導入以来、競技力向上の観点から国際ルールをベースとして、独自のルールを付け加えることでJLAルールとしてきましたが、2018年7月の国際ラグロス連盟(FIL)総会により男子は日本の独自ルールと同様の方向に進み、女子は日本も同意している大きな変更が加わったことが決定したため、関係者（強化、NPC、審判）にて協議し、JLAルールをFILルールに準拠したものとし、用具や防具に関する特記事項やフィールドについてのルール等を補足ルールとして、文中ないし巻末に追記という形に変更することを9月度のJLA定例理事会にて承認されました。なお本変更は2019年1月1日からの適用となります。

2019年度からの新ルール概略は以下となります。

1. 男女共通 ※別紙②③

A) 15分×4クォーター

第1～3クォーター残り30秒と第4クォーター残り2分は、すべての笛で時計を止める

B) フィールド仕様 ※別紙①-1、①-2参照

リストレイニングラインの位置と11mおよび15mファンの有無以外はすべて男女共通に

基本的なフィールドサイズ、最少縮小サイズについては補足ルールにて追記します。

2. 男子競技 ※別紙②参照

A) オーバーアンドバック

クリア成功後に一旦ゴールエリアにボールが運ばれたら、バックフィールドにボールを戻すとバイオレーションとなり相手ボールで再開する

B) オフサイド

・少ない状態は問わないのは変わりませんが、上限が追加されます

ペナルティボックスの選手も含め10人の選手がフィールド上にいる状態かつ

アタックハーフにペナルティボックスの選手を含め7名以上の選手がいる

ディフェンスハーフにペナルティボックスの選手を含め8名以上の選手がいる

3. 女子競技 ※別紙③参照

A) 選手の人数

10人制に変更

B) 試合の開始

ドロー時のリストレイニングライン間の人数を両チーム3名ずつに

C) セルフリスタート

15m アドバンテージフラッグエリア外でメジャー/マイナーファウルによりフリーポジションを得た選手は、自身がプレイングディスタンス（ボールからスティック1本半分くらいの距離（2.5m程度）の距離）にある場合は、ボールを拾ってリスタートできる。ディフェンスの選手もセルフリスタートが選択された場合は、セルフリスタート後すぐにプレーに参加できる。ただし、セルフリスタートの前にフリーポジションを得た選手以外が動いてしまった場合は、フォールスタートになる。

D) オフサイド

オフense側：6人

ディフェンス側：7人

なお上記を含めた FIL ルールブックは 2018 年 9 月末に発刊予定となっており、発刊時点より国際部、審判部、広報部にて翻訳、編集作業を行います。現時点での変更内容の詳細については添付 FIL 通達をご参照ください。

【本件に対するお問い合わせ先】 info@jpnlacrosse.org

以 上